

道徳学習指導案

- 1 主題名 ネットモラルの育成 2－（5）
- 2 資料名 「ケータイ・スマホ・・・あなたは大丈夫？」（きらめき）
- 3 ねらい
 - ・ インターネットによる重大な人権侵害が起こっていることを認識し、情報モラルや情報リテラシーを正しく理解し、自分の生活を豊かにしていく利用方法を身につける。
 - ・ 相手の立場に立って考え行動し、よりよい人間関係を築こうとする態度を育てる。
- 4 人権教育の内容 人間関係の活性化 3－（2）－ア

5 展 開

学 習 過 程	指導上の留意点
1 普段の生活の中でのインターネットの利用状況を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常的に様々な方法でインターネットを利用していることを認識させる。 ・ 利用していないことを否定的にとらえないように留意する。
2 もらってうれしいメールはどんなメールか考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 困っている時や悩んでいる時のメール ・ 自分のことを見てくれていると感じるメール 	<ul style="list-style-type: none"> ・ メールは相手を思いやる気持ちを持って利用すれば人間関係づくりに有効な手段であることを認識させる。
3 メールやチャットのやりとりで気をつけなければならないことを考える <ul style="list-style-type: none"> ・ 相手のことを考えて終わるきっかけをつくる ・ 家族や友達の間で使い方の約束をきちんと決めておく 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一方的に思いを伝えるのではなく、相手の状況に配慮することが大切であり、時には自分の困っている状況を伝えることも必要だと気づかせる。 ・ 文字による対話は、対面に比べて自分の意図が伝わりにくいことを理解させる。
4 「僕」やユウタの行動についてどう思うか発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 隠れて人の悪口を書き込むのは卑怯だ ・ 無責任な書き込みが事態を悪くする ・ 自分の心配をする前にまず謝るべきだ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一度公開された情報は、多くの人に瞬時に広まり、完全に消すことが難しいことや、情報源は特定できることなどインターネットの特性を理解させる。 ・ 犯罪行為となることもあり、インターネット上に他人の誹謗中傷を書き込んではいけないことを理解させる。
5 インターネットとのつきあい方を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 相手の立場や状況に気を配る ・ 無責任な情報を発信しない ・ 大事な話は直接言うようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・ メール等は、使う人の人権感覚や言葉の使い方によって、人を勇気づけるものになることを認識させる。

ケータイ・スマホ・・・あなたは大丈夫？

今や私たちの生活にとって身近な存在であるインターネット。携帯電話やスマートフォンだけでなく、パソコンやテレビ、ミュージックプレーヤー、携帯ゲーム機などからも簡単にアクセスでき、自分の知りたいことやみたい物がすぐに調べられたり、欲しいものをボタン一つで買うこともできます。また、人と人の心をつないでくれることもあります。

しかし、インターネットは使い方を誤ると、その人の人生を大きく狂わせてしまう危険性も潜んでいます。インターネットをどう活用すればよいのか考えてみましょう。

◎次の事例からインターネットの活用について考えてみましょう。

【事例1】

今朝、お母さんとケンカしてしまいました。部活の試合が近いので練習は大変だし、学級委員として、来週の合唱コンクールに向けてクラスをまとめていかなければならない。そんな忙しい時に、勉強、勉強とうるさいから、ついカッとなって、「お母さんは何もわかってない。」と怒鳴ってそのまま学校へ行ってしまいました。朝からイライラしていたので、部活の朝練習にも身が入らず、教室でボーッとしていました。

家に帰ってからも何も手につかずゴロゴロしていたら、同じクラスのサオリから、「今日、様子がおかしかつたけど大丈夫？一人で悩まないで。私はいつでも側にいるよ。」というメールが来たんです。何か肩の力が抜けて、ホッとした気持ちになりました。私のことをちゃんと見てくれている人がいたんだと思って、元気が出ました。

今も病院で仕事をしているお母さん。夜勤明けで疲れていても必ずお弁当を作ってくれます。あんなことを言ってしまうと本当に後悔しています。

少しでも早く気持ちを伝えたいから、メールします。

○メールはどんな時に役に立ちますか。

○もらってうれしいメールとはどんなメールですか。

【事例2】

今、親友のアキコからチャットアプリで相談を受けています。同級生とケンカになってしまい、とても困っているみたいなんです。学校から帰ってきてからずっとチャットをしているんですが、まだ終わりそうにありません。夕食の時もメッセージが来たので、返事を打っていると、父が「食事中だぞ。いいかげんにしないか。」と怒り出して、気まずい雰囲気になってしまいました。しばらく返事ができずにいたら、アキコが「どうしてすぐ返事してくれないの？」と怒ってしまいました。

今使っている無料のチャットアプリは、相手がメッセージを読んだかがわかるようになっていて便利なんですけど、こんな時は困ってしまいます。その後もアキコとのチャットは続き、今はもう夜中の2時です。宿題もまだ終わってないし、明日も部活の朝練で7時には家を出なければいけません。でも、アキコに嫌われたくないし、どうしたらいいんでしょう。

○友達とのメールやチャットのやりとりで、気をつけなければならない点を考えましょう。

【事例3】

この間、同じクラスのケンジがブログに僕の悪口を書き込んだ。僕はケンジのブログを読めないけれど、同じ部活のユウタが見つけて転送してくれた。腹が立って投稿サイトに「こいつは万引き犯です。」とコメントをつけてケンジの写真をアップした。もちろん嘘だけど、けっこうたくさんの反応があって、「こいつ知っている。〇〇中やろ。」とか「警察に通報してやれ」などのコメントがあがってきた。

それからケンジは学校でもみんなにひそひそと噂をされたり、無視されるようになった。そして、しばらくしてケンジは学校に来なくなった。

自業自得だと思っていたら、ある日ユウタから、「あの悪口の書き込み、本当はケンジじゃないねん。あの時ケンジとケンカしてて、腹が立ってたからつい・・・。」というメールが来た。びっくりしてすぐに写真やコメントを削除したけど、もう他のサイトに写真が広まっているらしい。誰が写真をアップしたのかは警察が調べればすぐわかると聞いたことがある。

僕はもうすぐ捕まってしまうのかな。

○僕やユウタの行動についてどう思いますか。

○インターネットを便利な道具として、みんなが気持ちよく利用するために必要なことを考えましょう。